

「レオナルド・フジタが秋田にある奇跡」

生涯学習課長 沢屋 隆世



2年前のことになりますが、岡山県倉敷にある大原美術館を訪ねたことがあります。感じたのは、大原美術館を核に美観地区という見事なまちづくりがされていたことです。

大原美術館は、その貴重な西洋美術のコレクションについては海外にも知られており、太平洋戦争の際も、大原美術館があったからこそ、この地区は爆撃されなかったと言われているほどです。

美術館は、大きく四つの展示館から構成されており、大原美術館自体にはコーヒーショップがありません。本館となりの大原美術館の収蔵作品の代表作「受胎告知」を描いた作家の名を冠した古い喫茶店がその役割を果たしています。四つの館を巡るとほぼ美観地区を散策することになりますし、本館の真裏のホテルには割引でチケットが買えるのにも、ビックリしました。半券を持って食事をしようものなら、様々なサービスが受けられるのです。これらのサービスを通して、地域の方々とのふれあいも出来ます。

この4月から秋田県立美術館では、秋田市の美術館や院展などとの相互割引制度の導入やエリアなかいちの商店街、店舗と連携しての相互サービス制度を始めています。また、昨年度からは特別展の開催前に、周辺のお店の方にお集まりいただき、事前展覧会を行い、口コミでの利用促進も進めています。

さて、秋田県立美術館といえば、「藤田嗣治（レオナルド・フジタ）」です。平野政吉氏との縁で秋田の地に藤田の貴重な絵画が展示されていることがどれだけ価値があることなのか秋田県民の皆さんは気づいていらっしゃるでしょうか。

昨年、東京で、「ボンピドゥー・センター（パリ国立近代美術館）傑作展」が開催されました。フランスの近現代の傑作が1907年から1977年まで、年度ごとに1作家1作品が紹介され、展示された展覧会でしたが、シャガールやピカソ、マティスなどと並んでレオナルド・フジタが1928年を代表する作家として展示されていました。

秋田県立美術館に展示してある大壁画「秋田の行事」は、1937年の作品です。パリで成功したフジタがここ秋田の地で、秋田のお祭り、四季、産業、そして出会った人も入れ込んで大壁画を制作したことは真に奇跡といわざるを得ません。秋田の文化が「フジタ」の情熱をゆり動かしたことを大いに誇りに思っていることだと感じます。

美術館のミッションは、「地域の美しい町並みと、その中にこもる物語や心意気を受け継ぐこと」であると、大原美術館前理事長大原謙一郎さんから、お話を伺ったことがあります。

美術館、博物館は、地域のためにどう働くのか、働いて来たのか。今、県人口が100万人を切った中、美術館や博物館には、県民の皆さんが身近にある秋田の物語、文化などにもっと誇りをもてるように、文化的価値や豊かさに気づかせる働きを期待したいと思っています。

2017 特別展

「レオナルド・フジタとモデルたち」

秋田県立美術館で、9/9（土）から11/12（日）まで開催

10/16(月)のみ、展示替えのため休館



1920年代のパリで活躍した藤田嗣治の作品が、フランスと国内の美術館の協力を得て秋田にやって来ます。展示される世界のフジタ作品約80点の中でも、フランスの歴史的文化遗产登録作品(国宝扱い)である「構図」「争闘」は、3m×3mもある大作です。大壁画「秋田の行事」とあわせて見られるのは、最後かもしれません。どうぞお見逃しなく！

— 生涯学習・学芸振興班 —

(1) 学んだことを行動に結び付ける環境づくり

「元気な秋田」をつくるため、学んだことを行動に結び付け社会に貢献しようとする気運の醸成を図ります。

- 関係団体や民間等との協働による学習の機会提供と情報発信の充実
 - ・学習の機会提供 … 「あきたスマートカレッジ」「あきた県庁出前講座」
若い世代を巻き込んだ講座の開催もあります。
 - ・情報発信の充実 … 「行動人ウェブサイト」「まなびサポート秋田」
地域の「行動人」情報をぜひ教えてください。

(2) 心の豊かさを育む芸術・文化体験活動の推進

豊かな感性や創造力をもった青少年の育成を図るため、優れた芸術・文化に触れる機会の充実に努めるとともに、地域の芸術・文化活動の拠点として、博物館・美術館等の活用を図ります。

- 子どもの頃から音楽や演劇など芸術・文化に親しみ体験できる機会の充実
 - ・秋田県青少年劇場
 - ・文化芸術による子供の育成事業
(巡回公演事業・芸術家の派遣事業)
 - ・あきたの子ども文化体験促進事業
- 博物館・美術館等の展示事業や教育普及活動の充実
- 美術館利用促進事業



・県立美術館展示室内
セカンドスクール



・青少年劇場ミニコンサート

問合せ先：生涯学習・学芸振興班 電話：018-860-5183

— 社会教育・読書推進班 —

○地域と学校が協働して、地域全体で未来を担う子どもたちを支えていく「地域学校協働活動」を推進します。

- ・「支援」から「連携・協働」を目指す「地域学校協働本部」の整備
- ・事業推進の核となる「統括コーディネーター」を各市町で配置

地域学校協働本部

①学校支援活動

教員と地域住民が児童・生徒と向き合う時間の拡充と地域全体で子どもを育む環境の整備

②家庭教育支援チーム

地域人材がチームで家庭教育に関する学習機会等の提供や相談活動を行う

③放課後子ども教室

地域住民の参画を得て、児童を対象とした学習活動や体験活動の機会の提供

④あきたわくわく未来ゼミ

すべての子どもたち（小・中・高）を対象に、多様な地域人材による学習支援

問合せ先：社会教育・読書推進班 電話：018-860-5184